

Let's try English!

Vol.194

Message FROM
Paul Wellington Harris
(元中学校ALT)



I want to tell you the stories of several famous American heroes as the holidays approach. The last is: The story of Paul Bunyan and his best friend and pet, Babe, the Blue Ox.

Paul Bunyan was a lumberjack born in Maine. His real name may have been Paul Bon Jean. He was a very huge baby, and when he grew up he moved to the Midwest to become a logger. Paul Bunyan and Babe are responsible for clearing most of the forests of early frontier America. Paul found Babe when it was a small calf playing in the snow during "The Great Blue Winter" in Minnesota. It was called the "Winter of the Blue Snow" because it was so cold that the snow was blue and would freeze the words as it came it out of people mouths. So no one knew what each other said until the next morning when the sun melted words. The Grand Canyon was made during the Blue Winter when Paul Bunyan didn't realize his axe head was dragging along the ground. Babe grew into a large blue Ox, his color permanently changed by the snow. Babe was so big it took a crow one day to fly from one horn to the other. One day after heavy rains, Babe wandered off through Minnesota and left large footprints in the mud. That is why Minnesota is called "The Land of 10,000 Lakes". Sadly, Babe died after growing old and Paul Bunyan cried so long and hard that his tears formed the Missouri River, the longest river in North America.

If you ever have a chance to visit the U.S., you can see the famous statue of Paul Bunyan in Portland, Oregon.



休日が近づいてきたところで、みなさんにいくつかの有名なアメリカの英雄たちの物語について伝えようと思います。最後に、ポール・バニアンとその親友でありペットの、青い牛のベイブの物語をしましょう。

ポール・バニアンはメイン州で生まれた木こりでした。彼の本当の名前はポール・バンジャンかもしれません。彼は赤ん坊の時からとても大きく、成人したのち、木こりになるためにアメリカ中西部へと引っ越しました。ポール・バニアンとベイブにはアメリカの草創期の、未開拓の森の大部分を開拓する役目がありました。ポールはミネソタ州の雪の中で遊んでいた幼いベイブを「青く凍てつく冬」の時期に見つけました。その頃はあまりに寒く、雪は青みを帯び、人々が口を開けばその言葉が凍ってしまうほどだったので、「青い雪の冬」と呼ばれていました。そのため、太陽が昇り凍った言葉を溶かすまで、お互いに何を言っていたのか分かりませんでした。グランドキャニオンは、ポール・バニヤンが斧の先を地面に引きずって歩いていくうちにつくられました。ベイブの体色は雪によって青くなり、大きな青い雄牛へと成長しました。ベイブはとても大きかったので、カラスが片方の角からもう片方の角へと飛んでいくのに1日かかりました。ある日、大雨が降った後、ベイブはミネソタ中を歩き回り、柔らかい地面に大きな足跡を残しました。そのため、ミネソタ州は「1万の湖を持つ土地」と呼ばれています。悲しいことに、ベイブは年をとり、息絶えました。ポール・バニヤンはとても長い間激しく泣き続け、彼の涙が北アメリカで最も長い川のみずーり川をつくりました。

もしアメリカを訪れる機会があれば、オレゴン州ポートランドにあるポール・バニヤンの有名な像を見ることができますよ。

ポール先生のお話はこれで最後になります。ポール先生には平成20年9月25日発行の「広報やまゆり」から記事を書かせていただきました。ありがとうございました。

短歌・俳句の世界

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」、「五月俳句会」から寄せられた代表作です。

短歌

亡き夫とパリーに行きし思ひ出の
ノートルダムの聖堂炎上
大井 藤子

田植ゑすみ岸辺に白きアカシアの
花房数多水面に揺るる
桜井みさを

集まればあちこち不調の仲間達
つられてわたしも足腰のばす
前田 悦子

俳句

当期雑誌二字

【御代田風の道俳句会】
五月雨や浅間山妙義山も籠りみし
大高 霧海

馬鈴薯の花の灯るや夕浅間
土屋 春雄

白檀の香や仏壇に新茶供へて
武井 房子

睡蓮の花ぽっかりと浄土めく
土屋 園子

五月雨や菓の親鳥は傘となり
波辺美智子

俳句道場【五月俳句会】
長梅雨や文月の文に湿りあり
尾沼せつ子

赤松の幹艶やかに梅雨の庭
水沼 久枝

太宰治の桜桃忌に寄せて
内堀 隆久

桜桃の透けて明治の玻璃光る

地域おこし協力隊御代田体験記

尾関Report



6月は移住相談の対応をする機会が多く、暮らす場所のイメージを膨らませたり、町の食を味わっていたりすることができ、移住希望者の方々が目を輝かせている様子に私もうれしくなりました。
9日には長野県建築士会佐久支部主催の「御代田フットパス」で写真のアドバイザーをさせて頂き、参加者の皆さんと楽しく写真を撮りながら面替を歩きました。

Profile

おんげん みつほ
尾関 充紗
【出身】
愛知県名古屋

御代田町地域おこし協力隊
二次元コード

Facebook



Twitter



instagram



6月のお気に入り写真



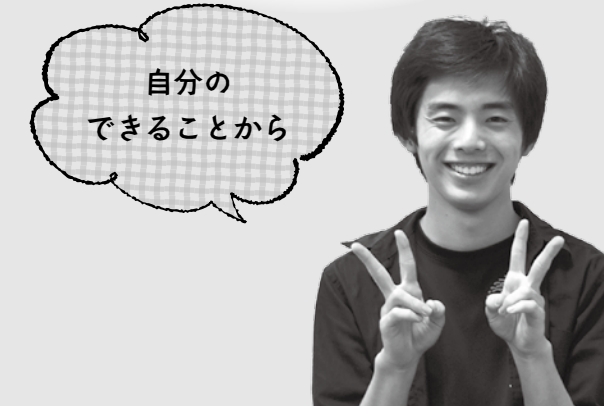
6月9日 御代田フットパス



6月14日 血の池堰ざらい

Man Watching

#231



自分の
できることから

- Q1 趣味は？
カラオケ、絵の模写
- Q2 おすすめのスポットは？
高峰高原
- Q3 理想の人は？
お母さん
- Q4 夢・目標は？
立派なお父さん
- Q5 まちづくりに一言
活気あふれる町にしてほしい。老若男女関係なしに進んで協力していけるような町になってほしい。